

1. 研究課題名： 多種・新規化学物質の網羅的モニタリングと地域ネットワークを活用した統合的評価・管理手法の開発

2. 研究代表者氏名及び所属：西野 貴裕（（公財）東京都環境公社 東京都環境科学研究所）



3. 研究実施期間：平成 28～30 年度

4. 研究の趣旨・概要

現在、新規に製造される化学物質の種類は年々増加しているが、これらの環境実態やリスクの解明は追いついていない。

本研究では、地方環境研究所間のネットワークを活用しながら、国内の都市域毎に主要な化学物質の環境実態及びリスクを解明する。

第1段階として、水質、底質試料の媒体毎に、網羅分析（GC/MS等のデータをデータベースに照会し、化学物質を定性する手法）により、優先的に調査すべき化学物質を都市別にスクリーニングする。第2段階では、試料、データの授受を行い、排出源も含めた環境実態やリスクの解明を進める。

これらの情報は環境行政部門に提供し、化学物質の適正な管理、危機管理対策の強化などに活用していく。

5. 研究項目及び実施体制

①水質を媒体としたターゲット一斉分析法（網羅分析を通じて選定した物質群を一斉に分析する手法）の開発並びに関東及び九州地域における化学物質の環境実態解明（（公財）東京都環境公社 東京都環境科学研究所）

②大気を媒体としたターゲット一斉分析法の開発及び近畿域における化学物質の環境実態解明（大阪市立環境科学研究所）

③底質を媒体としたターゲット一斉分析法の開発及び中部域における化学物質の環境実態解明（（公財）ひょうご環境創造協会 兵庫県環境センター）

④LC/QTOFMSによる環境汚染物質のスクリーニング、包括的分析技術の開発（名古屋市環境科学調査センター）

⑤GC/MS データベース法を用いた環境汚染物質のスクリーニング技術の開発（福岡県保健環境研究所）

6. 研究のイメージ

